

# 令和4年度宮崎県職員採用試験エントリーシート (大学卒業程度・保健師用)

(写真欄)

※鉛筆以外の黒又は青の筆記用具で記入してください。

- 縦4 cm×横3 cm
- 本人の単身で胸から上
- 裏面のりつけ
- カラー・白黒を問わず

区分試験		受験番号		
フリガナ		生年	※年齢はR5.4.1時点の年齢で記入すること。	
氏名		月日	平成 年 月 日( 歳)	
現住所	〒 (電話番号 ( ) - ) (携帯電話: - - )			
学歴 (高等学校以降) ・ 職歴	年(和暦)	月		
免許資格				
志望動機				
県行政で関心のある施策・部門				
卒論、ゼミのテーマ				
課外活動(クラブ活動)				
	時期	活動の内容	備考(務めた役職、公式戦での実績等)	
併願状況(今後の予定も含めて記載してください。)				
	試験団体名	区分・職種	状況	備考
国家公務員				
地方公務員				
民間企業 その他				



令和4年度宮崎県職員採用試験エントリーシート  
(大学卒業程度・保健師用)

(写真欄)

※鉛筆以外の黒又は青の筆記用具で記入してください。

- 縦4cm×横3cm
- 本人の単身で胸から上
- 裏面のりつけ
- カラー・白黒を問わず

区分試験	一般行政特別枠	受験番号	※記入不要	
フリガナ	ミヤザキ タロウ	生年	※年齢はR5.4.1時点の年齢で記入すること。	
氏名	宮崎 太郎	月日	平成6年12月21日(28歳)	

現住所	〒 880-0805 宮崎市橋通東1丁目150番地 ○○マンション101号		(電話番号 ( ) - ( )) (携帯電話: 090-1111-1111)
-----	--	--	---

学歴	年(和暦)	月	内容	備考
高等学校以降	平成22	4	○○高等学校入学	
	平成25	3	同上卒業	
			(大学受験のため自宅学習)	
	平成26	4	□□大学●●学部○○学科入学	公務員専門学校についても必ず記入すること。
	平成30	3	同上卒業	
	令和3	4	△△公務員専門学校■■■科入学	
職歴	令和4	10	同上卒業見込	以上学歴
	平成30	4	株式会社◆◆入社(正規職員)、営業部配属	職歴は全て記入すること。自営業、アルバイト等についても記入し、空白期間がないように記入すること。 勤務先については、配属先、正規・臨時等の別、職務内容について記入すること。 記入欄が足りない場合は、エントリーシート(1枚目)を2枚(追加分は氏名・学歴・職歴のみで可)提出してください。
	令和3	3	同上退職	
	令和3	4	▲▲学習塾(アルバイト)	以上職歴

免許資格	平成27年7月 普通運転免許取得
------	------------------

志望動機

県民の福祉生活向上に貢献したいと考えたため。

県行政で関心のある施策・部門

少子高齢社会を迎える中で、福祉行政には解決を求められている課題も多く、やりがいを感じているため。

卒論、ゼミのテーマ

行政法ゼミ、「地方自治の課題について(卒論テーマ)」

課外活動(クラブ活動)

時期	活動の内容	備考(務めた役職、公式戦での実績等)
高校生	バスケットボール	副主将、県新人戦ベスト4

併願状況(今後の予定も含めて記載してください。)

	試験団体名	区分・職種	状況	備考
国家公務員	国(一般職)	行政	4月申込予定	
	国(専門職)	労働基準監督官	4月申込予定	
地方公務員	○○県	一般行政	5月申込予定	
	○○市	総合職	申込予定(時期未定)	
民間企業	○○(株)	営業	内々定	
その他	(株)○○	総合職	2次試験合格	5月最終試験

1. 今までの経験の中で、あなたが特に力を入れて取り組み、成果が上がったと思われる取組はどのようなものですか。その取組事例についてお書きください（2つ以上）。

①高校のバスケットボール部の副主将として、部内の連携強化に取組、その結果、これまでの成績を大きく上回る結果を残すことができた。

②大学時代に、成績が優秀な者のみ受けられる奨学金の対象者になれるよう、勉強に励み、大学3年の時には対象者に選ばれることができた。

③アルバイトで家庭教師をしていたとき、教えていた生徒がどのようにしたら成績が上がリ、志望校に合格できるかを考えて指導し、結果的には、何とか志望校に合格させることが出来た。

2. 1の取組の中で、「特に工夫した点」、「新たに独自の工夫を加えた点」あるいは「苦勞したがそれを克服したこと」など、具体的なエピソードを各取組についてお書きください。

①学年を超えて自由に意見を述べられるような雰囲気作りを行ったり、自分たちで練習メニューを考えて、何が自分たちに不足しているかを考えて練習を行った。

②1年の時は、あまり大学の講義を理解することができなかつたため、講義前に予習を行い、十分な準備を行って講義を受けるようにした。また、講義中に理解できなかつたことについては、教授や優秀な同級生に確認したり、図書館などで参考となる書籍を確認し、理解を深めた。

③生徒によって得意科目、苦手科目が異なるので、その生徒が苦手な科目を重点的に指導したり模擬試験前や期末試験前は苦手克服を課題として教えるなど、その生徒にあった教え方を工夫を行った。

3. 自己紹介（私の人柄）及び自己PR（文章、図表等自由に記入してください。）

様式は問いませんので、自由に記入してください。